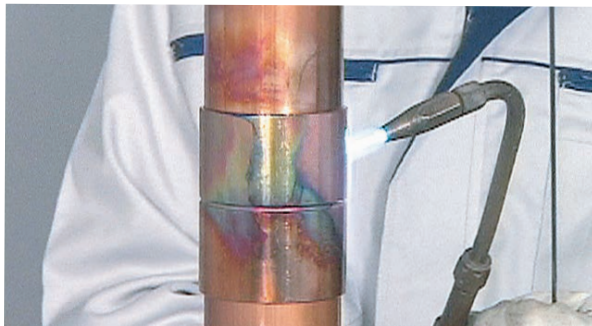


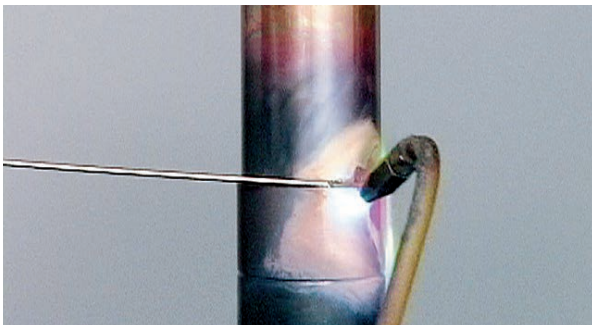
# 耳よりウンチク学

## 上手な硬ろう付けの方法



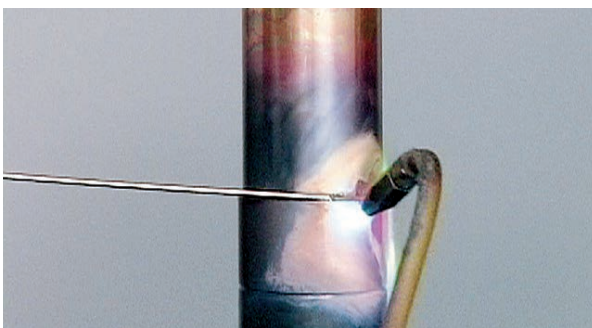
①銅管と継手を充分過熱します。加熱の範囲は銅管の直径の半分くらいから継手の差込部分までを目安にします。

②炎を動かして、銅管の表面が黒くなったり、ピンク色になったりしてくれば適正なろう付け温度に近づいています。



③銅管が赤味を帯びてきたら適正温度です。ここで初めてろうを差します。ろうは2回に分けて差します。

④継手を重点的に過熱し、銅管と継手の隙間にろうを浸透させていきます。ろうは炎で溶かさず、母材に当てて、母材の熱で溶かすようにします。



⑤次に、炎を遠ざけて温度を上げ過ぎないようにフィレット（肉盛り）を形成していきます。この時に、ろうのなじみ具合や流れ具合に注意します。

⑥加熱しすぎるとろうが踊るように動き、ろう垂れや銅管が溶けてしまいます。炎の先端でろうを溶かすと、巣（細かい穴）が発生してしまいます。

